

危機突破・活力再生プロジェクトチーム 本部会議

日 時 令和5年4月20日(木)
午後3時15分～3時45分
場 所 第3応接室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

・危機突破・活力再生プロジェクトチームの推進体制と取組方針について

4 閉 会

危機突破・活力再生プロジェクトチームについて

- 新型コロナや物価高騰など地域が直面する経済・生活等の困難を突破し、「地域の活力」を再生することで、全国のモデルとなる「輝くふるさと鳥取」に向けたチャレンジを展開していくためプロジェクトチームを設ける。
- 「危機突破・活力再生プロジェクトチーム」は、4つのプロジェクトチームで構成する。
- 各プロジェクトチームは、部局横断で取り組む政策項目の着実な遂行とともに、政策項目の確実な進捗管理を行う。
- 早期に対応すべき喫緊の課題については、6月補正も念頭に速やかに検討し、可能なものから着手・具体化を進めていく。

危機突破・活力再生プロジェクトチームの構成

随時意見交換を行い、**民意を反映した施策を検討**など

【官民連携会議】

- パートナー県政推進会議
- 女星活躍とっとり会議
- 子育て王国とっとり会議
- とっとり環境イニシアティブ
県民会議
- とっとりSDGsネットワーク

など

【関係団体】

- 商工・農林団体など

【NPO法人】

【住民・地域団体】

- 伸びのびトーク

新規

危機突破・活力再生 プロジェクトチーム

ふるさとの元気
プロジェクトチーム

健康・安心
プロジェクトチーム

人・暮らし
プロジェクトチーム

県庁改革
プロジェクトチーム

新規

とっとり若者活躍局

※県内の若者のアイコン（象徴）的な存在となる活動組織を設置。若者による自由で主体性をもった地域での活動を県がバックアップ。

県内在住の若者

新規

若手職員政策チーム

※庁内若手職員で子育てや移住定住など当事者・現場目線で政策を検討する職員を配置。若手職員ならではの柔軟かつ斬新な発想を活かして県政の主要施策の飛躍的發展を図る。

県庁職員

若者の意見を積極的に取り入れ、**施策を再構成**

ふるさとの元気づくりプロジェクトチーム①

チーム長：副知事

主な構成部局：商工、農林、地域、交流、県土、教育、令和、福祉

【プロジェクトの方向性】

県内企業の成長、「食パラダイス鳥取」、年間3千人移住の達成、ワーケーションや兼業・副業による関係人口増加、インバウンドのV字回復など、魅力と活力が溢れる「元気なふるさと鳥取」を実現します。

【政策項目】

- ① コロナ禍からの真の脱却へ、観光・飲食業をはじめとした事業者や生活困難者など、実情に即した支援を機動的に展開
- ② 事業承継、創業、人材開発、リスキリングを進め、デジタル・脱炭素化など企業の新分野挑戦と雇用拡充を支援
- ③ 企業物価高騰等を乗り越えるため、経営改善、技術革新、生産性向上、海外も含む販路開拓を支援し、働き方改革も
- ④ 農林水産業、商工業など産業活力を強化し、今後10年間を目標に農業生産1千億円、製造品出荷1兆円へ
- ⑤ 全国に冠たる食の生産地として鳥取ブランドを内外に展開し、地元の店・宿でも味わえる「食パラダイス鳥取県」へ
- ⑥ デジタルも活用した新時代を切り拓く地域振興に挑み、生活、農林水産、医療・福祉等の向上で元気づくり
- ⑦ 若者の県内就職、副業・兼業・ワーケーション等の関係人口を拡大し、年間3千人移住で地域や企業を元気に

ふるさとの元気づくりプロジェクトチーム②

【政策項目(続き)】

- ⑧ 「まんが王国とっとり2.0」、鉄道、サイクリング、サウナ、キャンプ、アドベンチャーなど新たな観光を展開
- ⑨ 大阪・関西万博出展や国内外との航空路線充実を実現し、外国人インバウンド復活を含め交流人口を飛躍的に拡大
- ⑩ 山陰道全線開通、米子境港間・南北道路の高速道路推進や河川・港湾整備等を図り、高速道路網を活かし活力醸成
- ⑪ 県立美術館年間20万人の利用を目指すとともに、県立博物館改修に着手し、市町村・地域と連携して芸術振興
- ⑫ 企業、若者、地域、NPO、行政等の連携によるSDGs推進プロジェクトを展開し、安心して持続可能な世界に貢献

健康・安心プロジェクトチーム①

チーム長：統轄監 主な構成部局：福祉、生活、危機、地域、農林、商工、子育て、交流、県土、令和、総務

【プロジェクトの方向性】

「鳥取県版CDC」、孤独孤立を防ぐ地域づくり、犯罪被害者支援、防災体制向上、買い物機能含めた社会生活機能維持・活性化など、健やかで安らかな「真の豊かさのある鳥取」を実現します。

【政策項目】

- ① 新型コロナを乗り越え、「鳥取県版CDC」など医療・地域・行政一丸となり感染症や疾病を克服する体制を構築
- ② 更年期障がいや認知症等の専門的対策も含めて、訪問看護対応500人確保など医療・福祉・行政で安心確立
- ③ 孤独・孤立を防ぎ温もりのある「絆・支え愛」の地域づくりに向け、福祉・就労など市町村等と連携支援
- ④ 8050問題、ヤングケアラー、老老介護、ひとり親家庭等へ、相談・支援など人に寄り添ったきめ細かな対策
- ⑤ 「犯罪被害者支援基金」や行政対応など独自の被害者支援を講じ、特殊詐欺など犯罪のないまちづくりを推進
- ⑥ 環境イニシアティブを進め、「自然共生サイト」を設け、環境推進活動、農業堆肥施設・下水道広域化等を展開

健康・安心プロジェクトチーム②

【政策項目(続き)】

- ⑦ 皆伐再造林を150haに拡大し、健康省エネ住宅普及、再生可能エネルギー割合50%実現など、CO2削減へ貢献
- ⑧ 世界ジオパーク完全再認定やナショナルサイクルルートに挑戦し、砂丘西側整備など大自然を生かす地域づくり
- ⑨ 防災士、災害ケースマネジメント、支え愛マップ、避難所Wifi化等のデジタル化、河床掘削など防災体制向上
- ⑩ 安全を第一義とし、周辺地域である本県の特長や意見に十分配慮した原子力発電所安全確保を要求し対策を推進
- ⑪ 「買物安心確保事業」を展開し、地域交通等の重要な社会生活基盤を市町村・事業者と協力し機能維持・活性化
- ⑫ 一日も早い拉致被害者帰国実現を政府に求めるとともに、国民保護訓練などで万一来襲に備えた体制を強化

人・暮らしプロジェクトチーム①

チーム長：統轄監

主な構成部局：子育て、福祉、教育、地域、令和、総務、生活、商工、交流

【プロジェクトの方向性】

「シン・子育て王国」、世界に羽ばたく子ども・若者の人材育成、出会いの創出、職場・社会のバリアフリー、シニア世代の活躍・健康づくり、県民参加型自治モデルの確立など、夢や希望を叶え「誰もが活躍できる鳥取」を実現します。

【政策項目】

- ① 小児医療・保育等の一層の負担軽減などニーズに即した「シン・子育て王国とっとり」推進事業で子育てを応援
- ② 医療的ケア児の療育・教育・生活を支援し、強度行動障がいや不登校など、地域のネットワークで安心確立
- ③ DXを駆使し学力向上を図り、英語教育や情報教育を進め、スポーツやアートも含め世界に羽ばたく人材育成
- ④ 若者が活躍する県政スタイルに向けて、ふるさと教育を進め、若者と共にSNSなど地域の魅力発信等を展開
- ⑤ えんトリーや縁ナビを活用し、市町村等とも協力し、出会いを創出する「カップル倍増作戦」で年500組を実現
- ⑥ 障がい者差別解消法を先取りした「あいサポート運動」を進め、新たな工賃向上プランなど共生社会を確立

【政策項目(続き)】

- ⑦ 手話の聖地として「手話フェス」を開催するなど、コミュニケーションや職場・社会のバリアフリー対策推進
- ⑧ 「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」成功と、シニア世代の活躍・健康づくりやデジタル社会対応を推進
- ⑨ 女性が輝きLGBT等の差別なく、皆が尊重され、インターネット等での人権侵害を防ぐ社会づくりを確立
- ⑩ 世界を覆い始めた民主主義の危機に対抗し、住民等の地域活動を支援し、鳥取県から参加型自治モデルを確立

県庁改革プロジェクトチーム

複雑化・多様化する地域課題の解決には、柔軟かつ果敢に取り組むことができる人材の育成や県庁の組織力向上が不可欠であることから、新たに「県庁改革プロジェクトチーム」を設置し、**若手職員の主体的な発想を活かして次世代を見据えた県庁改革を推進します。**

【構成】 本部長：副知事、構成員：各部局長＋中西部総合事務所長、若手職員

目指すべき姿

- **次世代版～チーム力向上に向けた仕組みの構築～**
チームによる業務遂行を推進し、目標・情報・ノウハウの共有と対話を通じた人材育成と組織力の向上を図る
- **次世代版～カイゼン活動の展開～**
若手の主体的な発想を活かし、業務の効率化を推進する
- **次世代版～働きやすい職場づくり～**
チャレンジ・提案しやすく、かつ若手・子育て世代が働きやすい職場環境を作る

ワーキング 設置

プロジェクトチーム内に以下の2つのワーキングを設置し、具体的な取組の検討を進める。

① **未来の県庁を考える若手チーム**

若手の主体的な発想を活かしたカイゼン活動の展開、やりがいのある働きやすい職場環境を目指す。 <メンバー：若手職員のみで構成>

② **人材育成・組織力向上チーム**

次世代を見据えた人材育成と組織力向上のため、チーム力を向上できる新しい仕組の構築を目指す。 <メンバー：主事級～課長級まで多様な職位で構成>